

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅱ-5-6 地域コミュニティの維持・再生

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 しまね暮らし推進課長 今岡 泰治 電話番号 0852-22-6179

事務事業の名称	中山間地域研究センター事業	
目的	(1) 対象	中山間地域住民・団体、行政担当者等
	(2) 意図	中山間地域における現状の把握と解決策を研究し、中山間地域の活性化の取り組みに役立ててもらふ。
事業概要	○中山間地域研究センター研究事業： 中山間地域における各種課題把握及び解決策を明確化するための実証実験も含めた研究 ○中山間地域研究センター研修事業： 中山間地域におけるリーダー等育成のための研修実施 ○中山間地域研究センター情報事業： 中山間地域の活性化に資するための情報提供	

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	研究成果報告会開催回数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		3.00	3.00	3.00	3.00	
式・定義	中山間地域に関する課題・解決策等に係る研究成果報告会		実績値	4.00	4.00	4.00	4.00		
			達成率		133.30	133.30	133.40		%
指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位		
								目標値	0.00
式・定義			実績値	0.00	0.00	0.00			
			達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	38,306	58,666
うち一般財源 (千円)	27,337	31,685

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

中山間地域における現状及び課題の把握や、その解決策を明確化するための実証実験も含めた研究を行い、研究の成果について成果発表会や講演会等の開催を通じて情報発信をしている。
 ○主要研究（H25-H26）
 ①行政と住民の協働手法 ②都市と住民との交流（二地域居住） ③「郷の駅」～複合型拠点、ネットワーク ④子育て世帯定着構造 ⑤地一揆住民マーケティング～事業戦略 ⑥里山管理・活用～住民による自伐林業 ⑦直払い地元活用～農業&コミュニティ連携

6. 成果があったこと（改善されたこと）

国内唯一の中山間地域専門の研究機関として、県内外からの視察及び講演依頼が増加しており、研究成果も国の施策に取り上げられている。
 ○H26視察受入件数 72件
 ○H26講演依頼件数 94件
 ○国施策への提言（委員会委員等）
 ・国土交通省「集落地域における小さな拠点検討委員会」
 ・農林水産省「中山間地域等直接支払制度等に関する第三者委員会」 ほか

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
 ○中山間地域における現状及び課題を把握するとともに、解決すべき課題を設定し、研究、研修、情報発信を行っているが、中山間地域を取り巻く環境は一層厳しさを増している。
 ○H24から、中山間地域対策プロジェクトチームにおいて、公民館等の範囲での地域運営の仕組みづくりを推進するため、地域の取組へのサポートのほか、地域サポート人材等のスキルアップ研修など、人材育成の研修を実施しているが、課題が山積している。
- ②困っている状況が発生している「原因」
 ○集落の小規模化、高齢化
 ○これに伴う日用品を販売する商店の閉鎖や、移動・交通手段の空白地域
 ○地域の生活の拠点施設が不足
 ○外部人材（U・Iターン者等）の受皿になる地域の体制が発展途上
 ○従来の事業単位、組織単位では持続性、収益力、雇用力が低下しており、生活サービスの低下や就業機会が減少
- ③原因を解消するための「課題」
 ○多様な事業、組織を複合化した運営組織による雇用の場
 ○運営組織が活動する拠点施設整備手法
 ○拠点施設と集落との交通ネットワーク形成手法
 ○地域の生産物や特産物を活かした地域内の経済循環

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

○中山間地域研究センターにおける研究成果を、地域住民や地域団体、行政機関による中山間地域活性化の取組に繋げるために、現場に即した研究活動と、行政（県・市町村）部門と研究部門が連携を密にし、事業に取り組む。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）